

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 5番 狐崎 捷 琅

平成 25年 6月 5日

午前・午後 11時17分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 角館庁舎の移転について</p> <p>(1) 市負担3割の合併特例債のリミットが8年後の平成33年と迫り、特例債の残が60億よりなく、もし病院建設に15億円必要となれば合併特例債は45億しかない。秋田県の市町村のなかでことさら財政事情の悪い本市が、今総工費3億8千万円も支出して緊急移転しなければならない根拠は何か。</p> <p>① 恐らく地震に耐えられないので、新築せざるをえないという答えが返ってくると思うが、耐震診断をした方が耐震診断士の資格を持っていないということを知っていて診断させたのか。</p> <p>② 現在の庁舎が崩壊するなら周囲の一般市民の家は、それ以上に壊れると思わないか。</p> <p>③ 市長は、5年後の平成30年まで、一体型の本庁舎を建設すると明言しているが、現在の庁舎を修繕して5年我慢するという案とそれに伴う予算をなぜ出さないのか。</p> <p>④ 議員は市民の付託を受けていると思うが、その全員協議会でほとんどの議員が反対であった。議員が反対なので、市民の意見を聞くというのもおかしいと思うが、この一般市民の各集会の数と考え方はどうだったか。</p> <p>⑤ 今後、耐震診断士の診断結果で判断すると思うが、現庁舎が5、6年耐えられるように補修すればどのくらいかかるか、その予算も是非明示していただきたい。</p> <p>⑥ 財政が逼迫していても、やらなければならない事業や助成は生ずると思う。市民は、何を市に言っても「お金が無い」といわれるので諦めかけている。辛抱するものは辛抱しても、必要なものには支出しなければならないと思う。そういう意味でも角館庁舎移転に伴う費用の3億8千万円は辛抱すべきだと思うがどうか。</p>			

2. 勤労青少年ホーム（指定管理者 仙北市体育協会）の指定管理に伴う問題について

- ① AEDについて
- ② 自動販売機収益の指定管理者への還元について
- ③ その他

3. 車椅子に優しい観光地、街づくりを目指して

- ① 年間どのくらいの車椅子の方が角館を訪れているのか
- ② 車椅子に不便な段差の調査を行っているか
- ③ 車椅子のトイレの数と設置場所の表示（パンフレット、案内地図、施設への表示）
- ④ 民間の商店、会社等への車椅子用段差、トイレ、バリアフリー等のお願いの取り組み

記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 高橋 豪

平成 25年 6月 5日

午前・午後 8時30分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◇市役所角館庁舎移転と一体型庁舎整備について</p> <p>市では平成23年11月に「庁舎整備に関する基本方針」をまとめた上で、現在の角館庁舎については、老朽化並びに火除けを復元するという理由で、一体型庁舎整備に先駆けて移転する案が示されている。そうした中、より具体的な角館庁舎の移転先候補として、平成25年2月28日市議会議員全員協議会では4つの案、その後平成25年5月15日の市議会議員全員協議会においては、中町庁舎、角館東地区公民館（旧角館東小学校）を使用すると共に、角館交流センター周辺に新たにプレハブを建築するという絞り込んだ案が示された。また、それをもとに市内6地区で住民説明会も開催されている。さらには、本定例会最終日に、角館庁舎や東地区公民館等を対象にした耐震調査の補正予算も予定されている模様である。このことについては、現在及び将来の市政を左右する大きな課題であるため次の点について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一体型庁舎の必要性について 2. 一体型庁舎に求められる機能や役割について 3. 「庁舎整備に関する基本方針」について 4. 角館庁舎の移転整備について 5. 住民説明会の開催結果について 6. 今後の一体型庁舎整備について <p>※ 一問一答方式で質問します。</p>		
<p>上記のとおり通告します。</p>		

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 11番 荒木田 俊一

平成 25年 6月 4日

午前・午後 10時36分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 固定資産税過誤収納問題について</p> <p>①原因の調査はどうなっているのか</p> <p>②返還金は当初予算で10年分を措置すべきものと思うが、なぜ5年分しか計上しなかったのか。</p> <p>③結果的に当該者には2重の迷惑をかけたことと思うがどうか。</p> <p>④他にも調査中であるようだが、最終的なめどはいつを目標としているのか。</p> <p>2. 田沢湖観光情報センターについて</p> <p>①田沢湖観光情報センターと田沢湖駅舎に伴う旧田沢湖町とJR東日本の管理運営に関する覚書の第4条に、販売行為等は原則的に行わないとなっているが、見直しを要望する考えはないか。</p> <p>②このままでは施設の維持管理費だけがかかり、一番の賑わいとなるところが活気つかず、利用客にも良い印象を与えていないと思うがどうか。</p> <p>3. 事務作業で使用しているパソコンについて</p> <p>①職員が使用している多くのPCのOSがウインドウズXPと見受けられるが、サポートが14年4月に終了するが何も問題は発生しないのか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 16番 八柳 良太郎

平成 25年 6月 5日

午前・午後 11時43分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1 合併の目標は達せられつつあるのか。 17年合併時の「新市の建設計画」には必要性として次のように記載されている。 交通網、情報網の発達に伴い、通勤、通学、買い物など日常の生活圏が広がり広域で迅速かつ効率的な行政サービスが必要である。又、3町村はそれぞれ独自の資源をもっているが、広域的観点で一体的取り組みが求められている。 更に新市の課題が産業の活性化を薦めることと記述されている。 合併して8年目行政サービスはこの目標に達しているのか。</p> <p>2 独自の資源はどのように活かされてきたか。 合併時3町村が有する全国的に知名度の高い観光資源を生かし 云々 北東北の拠点観光都市をめざすというまちづくりの方向性で将来像が示された。 日本一の水深を誇る田沢湖、全国的に有名な温泉・秘湯の数々、いにしへの面影を今に伝える武家屋敷の町並み、紙風船上げに代表される多くの小正月行事は、どのように活かされてきたかについてお聞かせ願いたい。</p> <p>3 観光産業が受けた東日本大震災の影響について 東日本大震災の影響は本市ではどの程度か、影響をうけた企業数はどれくらいか。 損害賠償を請求している企業数はいくらか。又いただいた企業はどれくらいか。 累計金額はおおよそどれくらいか。 宿泊業・飲食業 牧畜業 土産店 等業種別に。</p> <p>4 財政はどのように推移しているのか。 合併時の財政シミュレーションでは25年度は歳入の主なものは地方税約26億5千万円、地方交付税62億5千万円、歳出合計151億円となっている。 18年度に27億3千万円あった市税がついに25年度予算で25億5千万円になり1億8千万円減った。交付税は18年82億5千万円が90億円と合併時のシミュレーションから見ると減らずにきている。</p>			

三桁の数字は全国都市ランキング順位

	自主財源	経常収支比率	財政力指数	実質公債費比率
平成18年	23・89%	92・6%	0・294	20・2%
2007年19年	24・70%	92・9%	0・290	19・5%
	759位/783	393位/783	752位/783	90位/783
2011年23年	21・65%	92・3%	0・247	17・9%
	759位/787	573位/787	762位/787	47位/787

自主財源は年々悪化、経常収支比率は横ばい、財政力指数は悪化、実質公債費比率はようやく18%未満、それでも他自治体が頑張っているので順位を下げた。

- ① 現財政の状態についてどう考えておられるのか。
- ② 新市の課題の一番【地元産業の活性化】は出来たのか。
- ③ 誰もが安心して暮らせるまちづくりはできたのか。
- ④ 合併後の11年目となる28年から5年で激減される交付税総額はいくらか。

5 25年度角館観光協会は「東北一の観光地をめざす」とあるが、まずは桜まつりで東北一をめざすべきと思うがどうか。議会開会日の市政報告によると、桜まつり期間中の経済効果は秋田銀行の経済研究所の調査によれば地元消費額が69億円、それを含めて秋田県経済に111億円の波及効果があったとのことである。しかし、実感がない。実感できる取り組みをすべきと考える。

次の項目について伺う。

- ① 当面来年の来客数を10%増に設定する 156万人
今年の観光客数は昨年の16%増の141万7千人である。
- ② 駐車場を整備し桜まつりのチラシに載せ、車で来町者増を図る。
一杯になった公営駐車場へのお客様には駐車できる公営駐車場ないしは無料駐車場の案内をする。
- ③ 岩瀬川原に1000台の無料駐車場を設置し、シャトルバスを運行する。
シャトルの駐車場は横町日除けとする。職員の車は河原田さんの駐車場を借りる。
- ④ 「ウソ」の食害を防ぐ 桧木内川の国指定のソメイヨシノはもちろん対岸の桜の食害並びにテングス病対策も事前にやる。落合公園の「ウソ」対策も
- ⑤ 催し物をもっと拡充する 海外に打って出ている事業者を支援する。
バッグのデザインで顕著な業績 平成6年東京大丸で個展。最近この5月パリにて個展開催、樺細工の2社もイタリア、パリ海外進出。
桜まつりに伝承館で無料展示する。

次からはその財源について

- ⑥ 武家屋敷内の散策者に寄付を募る。寄付と引き換えに武家屋敷の整備や桜の保護等を訴える文書と桜皮の花びらをビニールの袋に入れて渡す。
- ⑦ 観光客サービスを打ち出す。駅から武家屋敷までの内町・外町の観光客の相互交流をつくりだす。商店街ではプレミアム商品券を発行し、観光客にアピールをするとともに、地域の活性化に協力して頂く。

即桜まつりに実施でなく、試行期間を設ける。

まずは今年の9月のお祭り、10月のデステネーションキャンペーン、続いて10月末からの種苗交換会で、主に角館駅から武家屋敷までの間で幟を立て、観光客大歓迎イベント「観光客歓迎1割お得な角館チケット」として販売する。

全市に広げる。

- ⑧ 市の名前を角館・田沢湖市に変更する
最大の資源は新市の名称である。
信楽焼、修善寺、角館、が合併で市の名前をなくして失敗したとされている。
変更すべきと思うがどうか。

6 角館小学校、角館中学校の環境・施設整備について

- ① 角中のプール、角小のプールについて
- ② 角中、角小の通学路(横町桜美町側)の危険度について
- ③ 角館中学校開放の利用状況は。
- ④ 外来者・生徒ともに利用できる校舎外のトイレについて
- ⑤ さくら祭期間中の角中、角小の土日祝祭日の駐車場開放について
- ⑥ 横町橋桜美町側街灯について。野球部は午後7時まで部活。
- ⑦ 旧碓堰について 校舎内の雨水の近隣被害について

7 市内流雪溝について

- ① 角館町落合地区の流雪溝について
 - 角館地域のかなりの部分の水が来る尻の部分に病院が建設される。
いままで水を吸収していた田畑はコンクリートで覆われ、さらに水位はアップする。上流の流雪溝から水があふれ出す。対策をどうする。
 - 市立角館総合病院の建設の最新スケジュールについて

8 マニフェストの検証結果について

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 4番 平岡 裕子

平成 25年 6月 5日

午前・午後 10時44分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>市民が安心・安全な生活を送るために</p> <p>1. 福祉灯油の助成について 今冬は、例年になく豪雪と低温続きで心身ともに厳しい日々を過ごした。燃油の高騰は家計にも響き温かい春到来を待ち望んだ。「何とかしてほしい」との声もあり、市長に2月26日付で緊急申し入れをした経緯がある。回答には、予算化の必要もあり24年度においては困難である。次年度に向けて制度設計を検討したいとのことであった。 検討経過について伺いたい。</p> <p>2. 就学援助について ① 各小中学校の制度利用者数の実態はどうなっているのか。 ② 生活保護基準の改定において、利用者の変化はあるか。 ③ 申請書用紙を学校で全児童生徒に配布の予定はないか。</p> <p>3. 予防接種費用の助成について ① 市政報告の中で、風疹流行に伴い予防接種の未接種が多い成人に対して助成と勧奨を進めたいとのことであるが、対象者をどのように考えているか。 ② 子どもを安心して産み育てるためには、予防接種事業が充実していることが望ましいと考える。定期予防接種のほかの任意予防接種費用の公費助成の考えはないか。たとえば、水痘、流行性耳下腺炎、季節性インフルエンザ、ロタウイルスなど。助成無しの場合費用はいくらか。</p> <p>4. 環太平洋連携協定（TPP）に参加した場合、仙北市における影響額はいくらかと試算しているか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 13番 小林 幸悦

平成 25年 6月 5日

午前・午後 10時23分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 営繕係の設置について 営繕の業務は、入札に関する事務、市有施設の新築、増改築、修繕にかかる調査、計画、設計、監理業務が主なものとする。これらの業務を営繕係で行えば各工事に関する監理等はもちろん、従来各課で対応してきた施設の維持管理の一元化ができ、修理修復等の年次計画を立て実施できるものとするがどうか。</p> <p>2. 事務事業と職員数について 職員の削減が求められている中で年々新規事業が多くなり、職員負担が増しているように感じられるが、さらに職員数の削減を進めるのか。行政組織の再編が急がれると思うと共に、事業の見直し等の考えは。</p> <p>3. 副市長の仙北市への思いは 就任以来1年になろうとしているが、副市長から見て仙北市に今必要なもの、また、将来を見据えて取り組むべきものについて考えがあれば聞きたい。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 8番 佐藤 直 樹

平成 25年 6月 5日
 午前・午後 8時30分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1 少子化対策と行財政改革について</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所は平成25年3月に「日本の地域別将来推計人口」をまとめた。2040年までの人口見通しによると、2010年対比での減少率では秋田県が35%、仙北市が43%とされている。</p> <p>本市の人口は、2010年時点では29,568人であるが、2040年には16,743人になるという。地区別では、田沢湖が6,403人、角館が7,446人、西木が2,884人で、ゼロ歳から14歳までの年少人口は市全体で1,406人とされている。これを1学年あたりに換算すると93.7人となる。年少人口の減少率は56%となっている。</p> <p>一方、市長は、この3年半の間、行財政改革には、結果的に殆ど手をつけてこなかったのではないかと。昨年の政策検証委員会の結果を見ても、外部評価では殆ど「C」「D」ランクである。今年度からようやく「行政改革懇談会」を設置し、行財政改革について実践すると4月広報に掲載されていた。</p> <p>秋田県でも25市町村と共同で「人口減社会に対応する行政運営の在り方研究会」を発足することを決めた。少子化・人口減の対策は、喫緊の重要課題である。大きな誤差はないとされるこの将来の推計人口の実態を踏まえ、市長はどういう決意と覚悟をもって少子化対策と行財政改革に臨むのか。</p> <p>2 今後の保育園の運営について</p> <p>2010年の年少人口は3,193人で、2040年には1,406人と推計されている。減少率は先に述べたように56%である。地区別年少人口は、田沢湖が538人、角館が625人、西木が243人である。</p> <p>市民福祉常任委員会でも調査・研究中と聞いているが、急激に少子化が加速する現状での今後の保育園の運営はどうするのか。</p>			

3 第3セクターの改革は、いつ、どうやるのか

人口減少が加速するなか、同じような3施設を、いつまで存続させることができるのか。雇用問題とも関連するが、売却や条件付き譲渡も含め、検討すべきである。時期を逸すると、大きな財政負担を強いられるだけではないのか。

4 秋田内陸線について

平成24年度の利用客数が全線開業以来、初めて40万人を割った。平成23年度より44,242人の減少である。しかし、目標とされる赤字額は2億円を切った。今後、県からの助成はどうなるのか。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 7番 阿部 則比古

平成 25年 6月 4日

午前・午後 10時50分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1 現在の款、項、目、による単式簿記公会計制度は、予算の執行や現金収支の把握には適した会計制度ですが、現在の資産がどの程度あって、その財源の内訳がどのようになっているのか等の情報が不十分です。発生主義を取り入れた新地方会計制度の導入を検討すべき時期ではないでしょうか。</p> <p>2 私達「民政会議」は去る2月21日から22にかけて、全員で岐阜県本巣市に今後の地方自治体の財政と、その運営はどうあるべきか、を勉強すべく視察に行き参りました。本市の財政のありかたと、門脇市長の財政運営に対する考え方に、どちらが良し悪しは別にして、だいぶ隔たりがありますので、そこらへんを質したいと思います。</p> <p>3 以前にも道の駅を本市にも誘致すべきとして質問しましたが、その後様々な情報を私なりに収集分析して参りました。財政厳しき折ではありますが、本市の発展のためにも、6次産業活性化のためにも、有為な人材育成のためにも、断じて国道46号線と105号線交点近傍に道の駅を誘致すべきと考えますがいかがでしょうか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

